

ちょこっと
コラム

信虎以降の石和八幡宮
石和八幡宮は、信虎により甲府に移された後も、武田氏一門の一部の儀式が行われていた。また、江戸時代を通じて歴代領主および甲府勤番支配が信仰した。甲斐国の拠点が甲府に移った後も、武士にとって重要な視されていたのである。



29 石和八幡宮



流時
武田氏

信時―時綱―信宗―信武―信成―信春―信満
―信重―信守―信昌―信繩―信虎―晴信―勝頼
〔信玄〕

信玄が奉納した紺紙金泥般若心経などが残る。



一宮浅間神社

積迦堂遺跡博物館

岩崎氏の要害とされる。



蜂城

信昌以降、武田家が代々援助したという。所蔵する武田氏の土地寄進状などは、広蔵院文書として県指定文化財。



広蔵院

上黒駒集落と鎌倉往還を見下ろす位置に立地する。



旭山烽火台

時宗二世の他阿真教に帰依した黒駒讃岐守が開創したという。讃岐守は武田信光の九男とされる。



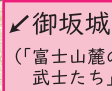
称願寺

上芦川集落は、武田氏が若彦路に設けた関所を中心に発展した。



至上芦川

御坂城
〔富士山麓の武士たちへ〕



御坂城

〔富士山麓の武士たちへ〕

